

日本経済団体連合会 常務理事 鈴木正人先生

ご紹介いただきました日本経団連の鈴木と申します。いつも皆様方には、大変、いろいろな分野でご協力、またご寄託いただいておりますことを厚く御礼申し上げたいと存じます。本日は男女共同参画学協会の第3回シンポジウムと伺っておりますけれど、多数の方々にご参加されて、盛大な形で開かれますことを、まずは心からお喜び申し上げたいと存じております。改めて申し上げるまでも無いことですが、わが国の社会経済情勢というものが急激にかつ大きく変貌を遂げているわけでございます。そうした中で、男女が互いにその立場を尊重しつつ、かつ責任を分かち合って性別に関わらず個性や能力を存分に発揮していく社会を実現する、これはわが国にとりまして喫緊の課題であるというように認識をいたしております。99年の6月には男女共同参画社会基本法というものが制定されましたが、これは皆様よくご存知の通りでございます。私ども日本経団連におきましても、経営をとりまく環境というものが、日々大きく変わっておりますが、企業が存続していくためにも、性別や年齢等にこだわることなく、多様で能力の高い人材を活かしていく、個人それぞれが持つ強みとか、持ち味を十分に活用していくということが一段と重要である、という観点から、男女共同参画の必要性を強く認識しておりますし、同時に会員企業をはじめ広く社会に訴えているところでございます。男女共同参画学協会連絡会におかれましては、理工学系の学協会がお集まりになりまして、科学技術の分野におきまして、男女が共に、個性、また能力を存分に発揮できる環境の実現、そしてネットワーク作りを真に取り組まれている、そのように伺っております。是非ともこの連絡会の力強い牽引力のもとに科学技術分野における男女共同参画というものが一段と促進されまして、そこから大きな成果、また高い業績が生まれてくることを大いに期待したい、と存じております。最後になりましたが、ご参加の皆様方の今後ますますのご活躍とご健勝を祈念申し上げまして、簡単ではございますが、お祝いのご挨拶とさせていただきます。本日はまことにありがとうございました。